

授業科目名・形態	介護福祉論	講義	必修・選択の別	選択	単位数	1
科目担当者氏名	中里 操		実務経験の有無	無	開講期	4年前期

【授業の主題】

本講では高齢者や障がい者の生活支援にあたって不可欠な介護実践（私的・社会的介護システム）について、社会福祉固有の視点からアプローチする。介護問題を直接的な介護実践技術や支援内容の問題にとどまらず、当事者及び家族の生活維持におけるニーズ保障という視点から理解する。要介護状態に伴う生活問題として認識するために「介護」概念を理解し、そのうえで、介護実践過程で現れる制度・政策的な課題から介護資源まで含めた問題を、生活保障システムとしての「社会福祉」という視点からの介護福祉論（学）として学ぶ。

【到達目標】

1. 介護福祉実践にあたって不可欠な介護支援・技術が固有の理論的専門性に担保されることによって、介護実践の質が保障される。経験の蓄積による技能体得ではなく、技術の修得は固有の理論（学）によって裏打ちされなければならない。必要とされる介護ニーズに応えられる質的サービス担保できる理論を介護福祉学として学ぶ。
2. 介護を必要としている人に寄り添った、よりよい介護サービスを提供するためには、介護者自身の生活力（質と量）が高まることによって、後継人材の育成が可能となることを理解する。
3. 地域福祉の最重要課題である地域包括ケアの推進における他の制度・機関、他職種との連携問題などに対応できる専門職者の役割を果たすために、介護福祉職として持つべき固有の視点・理論を体系的に学ぶ。

【授業計画・内容】

- 第1回 介護福祉論とは（介護福祉論の課題、介護概念、介護福祉の理念）
- 第2回 介護問題を考える（社会福祉問題としての介護問題・・・介護福祉の成立と進展）
- 第3回 介護福祉の専門性と倫理性（介護福祉教育の形成と介護福祉業務の専門性、倫理綱領）
- 第4回 介護福祉の機能と役割、チームケアとケアマネジメント
- 第5回 関連・隣接領域との関係と介護福祉の固有性・・・看護、社会福祉、家政、教育、保育、療育等
- 第6回 介護福祉にかかわる諸制度
- 第7回 海外における介護福祉の動向
- 第8回 介護福祉の課題（介護福祉教育の展望と課題）

【授業実施方法】

講義

【授業準備】

【主な関連する科目】

社会福祉概論、高齢者福祉論

【教科書等】

介護福祉学研究会 監修『介護福祉学』中央法規出版

【参考文献】

適宜紹介する。

【成績評価方法】

授業への取り組み姿勢 10%、レポート 30%、期末試験成績 60%の総合評価とする。

【学生へのメッセージ】

本講は介護に関する直接的、基本的な専門知識・技術はすでに履修・既得済であることを前提にすすめる。学修に当たって大事なことはミクロな介助・支援の実践レベルから、マクロな介護政策の問題まで含めて、介護問題に関心を寄せることである。「なぜだろう」と疑問を感じ、考える力（学的・研究的力量）を高める事である。サア、一緒に応え探しに旅立とう。積極的な受講を期待する。